

平成 29 年 5 月 15 日



各 位

株 式 会 社 FRONT EO

代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏

(コード番号：2158 東証マザーズ)

(NASDAQ ティッカーシンボル：FTEO)

問 合 せ 先 財 務 部 長 前 田 晃 洋

電 話 番 号 03-5463-6344

平成29年 3 月期通期予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成29年 2 月14日に公表いたしました平成29年 3 月期通期連結業績予想の修正数値と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。また個別業績における前回発表予想数値と実績値の差異についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成29年 3 月期通期連結業績予想と実績の差異 (平成28年 4 月 1 日～平成29年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純損失 (Δ)	1 株当たり 当期純損失 (Δ)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,800	Δ850	Δ860	Δ700	Δ19.47
実績値 (B)	11,494	Δ929	Δ965	Δ771	Δ21.21
増減額(B-A)	Δ306	Δ79	Δ105	Δ71	—
増減率 (%)	Δ2.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	10,553	71	25	Δ194	Δ5.47

2. 平成29年3月期通期個別業績予想と実績の差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,570	260	115	3.20
実績値 (B)	4,430	120	61	1.68
増減額(B-A)	△140	△140	△54	—
増減率 (%)	△3.1	△53.7	△46.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	4,560	189	74	2.09

3. 差異の理由

連結業績につきまして、売上高は第3四半期を含め好調を維持していた日本リーガル事業が第4四半期に想定より下振れしたこと、米国子会社の為替が前提より円高になったこと、韓国子会社で見込んでいたクライアント獲得が先に延びたことにより306百万円の予測と実績の乖離となりました。

個別業績につきまして、売上高はAI事業が堅調に推移しましたが、リーガル事業の第4四半期新規受注獲得が想定通りに進まなかったことにより140百万円の予測と実績の差異となりました。

経常利益については、上述したリーガル事業の売上の下振れ、想定していた以上の円高に伴う為替差損を計上したことなどにより140百万円の予測と実績の乖離となりました。

以上